

Vol. **140** 2022.12

社会福祉法人 一心福祉会
<https://www.issshinfukushikai.or.jp/>

大宜味村に「一心福祉会」あり



法人ホームページはこちらから。
携帯・スマートフォンからでも
広報いっしんを閲覧できます。

**11月20日に行われた
大宜味村夏祭りの花火**

※5面に記事を掲載

撮影者：前田 久志



お化粧中の山城芳子様と娘の
徳村美智子様（カジマヤー）

十月には節目の歳となる方々のご家族様と一緒に、ささやかながらお祝いをさせていただきました！

施設長の挨拶から始まり、記念品の贈呈、記念撮影、最後はご家族様のみでお食事しながら団らん時間を設けることができ、職員一同も今年は無事、ご家族様とお祝いすることができたと安心していきます。

普段とは違い、かりゆしウェアや着物に身を包む皆様は不思議といつもより凛としていて、かつこよく・美しく見えました！！



米寿を迎える宮城正康様・ご家族様御一行

人生百年時代。私たち職員も、大先輩方を見習い、ご家族様に愛される人生を歩んでいきたいと思う、頑張っていきたいと思っています。

（写真は一部抜粋）

やんばるの家

祝新百歳・風車・米寿



外を散歩する学生さんと宮平重由様

新型コロナウイルスの猛威が始まり約三年弱。刺激の少ない日々を過ごす事が多い昨今ですが、久しぶりに名桜大学より看護学科の学生さんが実習に来てくださいました！

若い学生がいると利用者様もやはり普段と少し違う様子。「学生さんが実習終わる前にはやくプレゼントを作らないと！」とせせせと折り紙を作り始める上地廣子様や「昔はたくさん歌や踊りをやっていたよー」と昔の話などをたくさん聞かせてあげている渡久地梅子様など。学生さんは勉強になったでしょうか？私



最終日にプレゼント交換する
学生さんと上地廣子様

ちは大変楽しませていただきました！ぜひ、また遊びにきてください！

実習にご協力いただいた、上地廣子様、渡久地梅子様、宮平重由様、またそれぞれのご家族様、本当にありがとうございました！

やんばるの家

約3年ぶりの実習生



楽しい時間をありがとう



久しぶりだね〜

去った十月十四日、コロナ感染症が減少している状況で久しぶりに大宜味村婦人会の訪問がありました。歌や踊り、知人との再会もあり楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

復活！ 婦人会の慰問

小規模 いっしょ

第49回 国際福祉機器展

H.C.R.2022

今回、国際福祉機器展に参加するにあたり、私は①移乗支援機器やリフト、車椅子の情報収集②介護用パワースーツを実際に体験する③情報交換とシェアを意図して参加してきましたので所感も含めて報告します。

移乗支援機器やリフトに関して、当施設は三年前から床走行リフトを使用しています。現在使用中のリフト以外にも他社製でどんなものがあるのかを見て回りながら、今回は天井走行リフトの体験をしてきました。移乗支援プロジェクトを立ち上げてから、リフトの効果は感じていましたが、さらに使用感や乗り心地の良さがグレートアップしていました。療養園は、今年度浴室の環境調整を目標としており天井走行リフトと特殊浴槽をセットで使用することで介助者の負担軽減と快適な入浴サービスを提供できるのではないかとイメージが湧きました。業者との連携やデモ機の使用に関する事も相談しながら実行に移していきたい

と思います。

介護用パワースーツに関しては、事前に移乗支援Pチームメンバーや現場から情報が欲しいというリクエストがありました。従来はパッドを皮膚につけて筋電位を感知して動くタイプや、機器自体が重たく装着すること自体に負担感があるものが多かった印象でした。

今回、実際に体験してみると、装着も簡単でまるでリュックサックを背負っているような感覚でした。軽量化、装着感の改良と中腰姿勢での作業、介助をアシストするパワーも向上しており、これも進化しているなあと感じました。ぜひ、支援員さんに実際に装着してもらい、現実的に実用性があるか、需要があるかを検証する機会を設けたいと考えています。

情報交換とシェアに関しては、参加したメンバーそれぞれが自身の置かれている立場で、目的を持ってセミナー参加、機器の体験、情報収集などを行い、アフターでシェアをしあいました。従事している環境や支援する対象者は違うけれど

も、同じ福祉の現場に身を置く立場同士、今回の展示会を見て、全員が共通して感じたことは「福祉のICT化が加速している」でした。その一方で、「人だからこそなしえる支援は何か？」「利用者のその人らしい生活を支援するため福祉機器をどう生かすか？」を探究するきっかけになりました。今の我々の介護、介助を見直し、ITの強み、人の強みを生かす支援、組織、システムを構築していくことが、今後の重要な課題と考えます。そのためには、現時点におけるハード、ソフトの両面の質をしっかりと分析・評価すること、そして、必要と思われる福祉機器の体験を重ね、体験をシェアする事が大切であると思います。一心福祉会というプラットフォームで、上下関係なく、意見利用者支援、また支援者の



パワースーツ!! 進化しています。

今回の法人研修は、中間管理職やリーダー職を担う職員をターゲットにグリーンホーム施設長の伊佐智樹氏を講師お招きし研修を実施しました。

まず、最初のワークでこの仕事の魅力って何？仕事のやり甲斐って何？の質問に苦戦する職員の皆さん。自分が何故、一心福祉会で福祉職をしているのかを探究し向合う時間となりました。また、理想のリーダー・チーム作りの為に自分が出せる事を明確にする事で、「自己覚知」を各職員が理解する事が出来ました。

研修後のアンケートでも、沢山の気づきや思いがありしたのでその一部を紹介いたします。

中間管理職員研修

男性職員 役職…主任

福祉職の魅力について考える良い機会になった。福祉職は様々な関わり繋がりが地域に密着している。福祉は展開されていると感じた。法人理念でもある「福祉で村興し」が個人的に好きなので、それに繋がる様に日々の業務を頑張りたい。また、福祉職の「魅力ややり甲斐」自分の中でしっかりとつづける大切さを知り、それを出来る様になりたいと思う。主任になって半年が経過して考える事と感ずる事が業務の中にあるので残りの半年間で行動したりチャレンジして次年度に繋げたい。



魅力ある職場にする為、皆で探究!!



完走おめでとう♪



一番バンザイ！

コロナ禍の影響で中止を余儀なくされていたゆうあいスポーツ大会が三年ぶりに開催されました。規模の縮小で参加人数も減っていましたが、無事天気にも恵まれ、みんなで精一杯競い合う姿がとても素敵でした。

ゆうあいスポーツ大会

えすの里



イケ～～～!!



そこまでなら…跳べる



とっても 楽しかったよ



外は気持ちいいね～



まつりだイエ～イ♪

コロナ禍で中止を繰り返していた村夏まつり。今年は時期を遅らせ十一月に開催。久しぶりの夏まつりとあって沢山のお客さんで大賑わい。就労センターもテナントを出店し久しぶりで戸惑いながらもやり遂げた達成感最高でした。反省点は次回に生かし、すでに来年の対策を考える意気込みです。利用者さん待ちに待ったまつりという事で賑やかな雰囲気になりました。思う存分食べた飲み物、何となく美味しく感じました。何となく今年の花火は良かった。リズムカルで力強い花火に心打たれる美しさでした。

大意味村夏まつり

就労センター えすの里

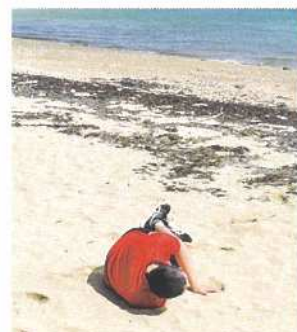
えすの里では定期的に地域貢献の一環として海岸清掃等を行っています。今回は東村字伊名名の海岸でゴミ拾いをしました。砂浜には沢山の漂流ゴミがあり、大きい発泡スチロールや網など、歩きにくい砂浜を一生懸命に運ばれている姿も見られました。一時の間の収集作業でしたが、二トンダンブ一杯のゴミを拾う事が出来ました。中にはゴミ拾いより砂の感触を楽しみ、利用者さんも居ましたが、集めたゴミの量と綺麗になった海岸を見て、達成感を味わう事が出来ました。今後も活動を続けていきたいと思います。

地域貢献活動

えすの里



ゴミ拾いもうすぐ終わる～



きれいになったから帰りたい～



砂浜きれ～い!!

デイサービス

ミニ運動会

十月にはデイサービスミニ運動会を開催しました。色塗りをした世界国旗を頭に飾り、利用者代表の車いすランナーは本物さながらの聖火台に生き生きとした表情で聖火を点灯し満ち足りた。競技では赤組・白組に分かれ、白熱した運動会となりました。足の輪運びリレーや玉入れなど、

手芸 ツリー作り

もうすぐクリスマス!! デイサービスでは手芸として、牛乳パックでクリスマスツリーを作成しました。久しぶりの手芸に慣れない手つきで、折り紙を牛乳パックに張り付けたり、ツリーの飾り付けをしました。飾りツリーにつける時はポンドが手にくっついて、悪戦苦闘しましたが、いざ、完成品をみると、思ったより上手くできた



綿が手にくっつくよ



ツリー出来ました

ようで、「もう一つ作りたい」と要望もありました。慣れない指先の運動も脳のリハビリの一貫でもあるので、良い刺激になった



全体体操



聖火台への点火

日ごろのリハビリの成果が発揮され、拍手をし、掛け声で盛り上がりました。終わりの利用者代表あいさつでは「とても楽しかったです。毎日でも

やりたいです」と充実した感想が聞かれました。短い時間の中、誰一人怪我することなく笑顔で最後まで楽しみ、大成功に終わりました。

グループホーム つつじ苑

ミニ運動会

十月二十四日、つつじ苑にてミニ運動会を開催しました。紅組、白組に分かれ玉入れ競争、お菓子釣り競争、大玉運びと盛り上がりしました。運動会終了後は、自分で釣ったお菓子をいただきました。楽しいひと時を過ごしました。身体的、力学的にもできる種目が限られる中、

74年ぶりの再会

小規模いっしん利用者、塩屋区出身の平良久子さん(九十歳)は元小学校教諭。宮城十子さん(八十四歳)は塩屋に生まれる。十歳で大阪で暮らす父親の元へ上阪し故郷を離れるが、十子さんは小規模いっしんの利用者で姉の宮城サチ子さん(九十一歳)が健在で、度々塩屋に帰省しています。その際に、塩屋小学校二年生の担任だった久子先生がいつしんを利用されている事を聞き、



再開を喜ぶ久子さん(写真右)

ひお会いしたいと去った九月二十二日に七十四年ぶりの再会を果たしました。久子先生は「とても活発で頭のいい子だったよ」と話され十子さんは「本当にお世話になりました。これからお元気で」手を取り合い昔懐かしい思い出がよみがえりました。



赤組・白組、共にごんばりしました～♪

職員が相談し工夫しながら楽しいミニ運動会を終えることが出来ました。



男子チーム負けるな〜♪



しっかりねらって〜♪あ〜ん!!



アンカ〜♪デットヒート!!



習字にチャレンジする利用者さん♪



色んな事にチャレンジしました!!



作品展示会、大・成功〜♪



利用者、職員みんなでチャレンジした作品集♪



ミニ運動会

今年もほげまきた♪

一心療護園

十月二十六日は待ちに待ちたる運動会! 天気も最高な上に今回は、家族の皆さんも招待する事が出来、最高のシチュエーションで運動会を行いました。パン食い競走、玉入れ、車イスリレーと種目は少ないですが、参加した利用者さん一人一人が素敵な笑顔で元気な姿を家族に見せる事が出来ました。

職員の車イスリレーでは超ハッスル! 途中から車イスを漕がず、オンパレード、押してもらった一心療護園の職員らしい面白いリレーになりました。家族の皆さんにも、元気な姿が見れて本当に良かった、ありがとうとお声かけ頂き、とてもハッピーな気持ちになりました。

一心療護園では、作業療法士の発起人となり、利用者・職員の作品展示会を十一月九日〜十六日まで行いました。「表現することを楽しむ」意図に、初めてトライする機会を実行委員で提供しま

作品展示会

した。特に習字は好評で沢山の利用者さん・職員がチャレンジしていました。今回の作品展示会は職員と利用者さんが協力しあって作品作りに取り組み事を意識しており、一緒に形した作品も多数できました。障害があってもなくても、展示会を通して楽しみながら一緒にトライした一週間! 達成感が半端ない! 最終日は展示会場でカフェタイムをして有終の美を飾りました。



やんばるの家ホーム利用者
平良 則子さん(89歳)
(大宜味区)



人生はたった一度と言われますが、その人の歩んだ人生は唯一のもの。その貴重な体験を「私のヒストリー」(ライフヒストリー)と題してご紹介する企画です。

父は四十三歳で亡くなってしまったので、母が私たち兄弟を魚を売ったり、ミカンを売ったりして育ててくれました。私も畑で芋を採ったり手伝いをした事もありました。ヤギ八頭、豚二頭も飼っていて皆で世話をしていました。

大宜味尋常高等小学校に入学する時は、服を準備出来なくて、正月に着た古い着物を着て入学式に出席しました。

一年生の時の校長先生は、平良じんいち先生、担任の先生は、新里ちよ先生でした。その先生達は、対馬丸で亡くなられてしまいました。

私が、十三歳の頃に戦争が激しくなり、兄さんは、海軍に志願して長崎に行きました。その時に母も兄と長崎に行ってしまったので、私は、弟や、妹を連れて山へ逃げたりしていました。七つも壕を歩いて大変でした。戦争が終わって、国民学校へ通い、喜如嘉や塩屋の友達がたくさんできました。その後、辺士名高

校へ進学。

結婚は、二十七歳の時でした。四名の子宝に恵まれました。三十六歳頃から農協で仕事をするようになった。各家庭を回って営業する事もあり、悩みながら仕事を頑張った。二十五年間働き続けた。夫は、三村(大宜味・東・国頭)の郵便局長をしていました。忘れられない辛い出来



子・孫にかこまれ笑顔の平良夫婦

定年になってから、26年という気の合う友人26人の集まりで北海道に旅行に行ったり楽しんできました。趣味は、縫い物が好きで、よく大宜味展にも出したりしていました。スポーツも好きで、バスケットの琉球ゴールデンキングスや、野球のヤクルトスワローズのファンで観るのが好きで、好きな選手もいます。

事は、災害に遭ったことですが、台風で山崩れに巻き込まれた事や、子供の運動会の翌日に火事があつた事です。火事では子供たちが写真が燃えてしまい、とても悲しい思いをしました。



苦楽を共にしてきた夫、松信さん

美人集団「八千姫劇団」の皆さんと
(右から二番目が則子さん)

今は、趣味をしたりする楽しみは、出来なくなりましたが、孫が八名、曾孫が八名いますので、これからの成長が楽しみです。

本人に聞き書き

～ちはるネーネーありがとう♪～

グループホーム えすの里

おおきみこども園のみんなが会いに来てくれました～!!

トピックス



来てくれてありがとう♪



夏にぬり絵のプレゼントされた園児達が島袋ちはるさんに会いに来てくれました。お礼の手紙をもらい、本人も照れながらもとても嬉しそうにしていました。園児のみなさん来てくれてありがとう♪



功義さんお似合いです♪

一心療護園

ハロウィンパレード

職員・利用者さん
みんなで楽しむのが
テーマです!

療護園管理課も本気の仮装(笑)



◆◆◆◆◆ 一心福祉会 老人介護施設入所 待機者状況 ◆◆◆◆◆

施設名	定員	空き状況	待機者
特別養護老人ホーム やんばるの家 (☎0980-44-2288)	50名	0名	22名
デイサービスセンター やんばる (☎0980-44-2033)	33名	8名	0名
小規模多機能ホーム いっしん (☎0980-44-2662)	25名	0名	0名
グループホーム きじょか (☎0980-44-3015)	9名	0名	2名
グループホーム つつじ苑 (☎0980-43-3800)	9名	0名	3名

※詳しいお問い合わせは各施設にご連絡ください。

令和4年11月30日現在